

平成三十年度 埼玉県公立高校入試問題 解説

※入試問題の文章本文はテレ玉ホームページよりダウンロードできます。

サイエンスクルールの山口雅弘です。今回は、平成三十年度埼玉県公立高校入試を題材に「説明的文章」と「作文」について一緒に勉強していきます。

説明的文章

では、まず初めに「説明的文章」のポイントから確認していきます。「説明的文章」のポイントは『目印』を手掛かりに筆者の主張をつかむことです。そこで、今回は代表的な「目印」を三つご紹介します。赤字の部分が必要な内容になります。

◎説明的文章のポイント

- ① 主張 ↓ **【具体例】** ↓ 主張
- ② 要点 **【はじめ】**と**【おわり】**

(例) 現在、世界規模で深刻な環境破壊が起きている。例えば、地球温暖化などだ。我々ももっと環境問題に取り組むべきだ。

- ③ 接続語 **【だから】**^{順接}**【しかし】**^{逆接}**【つまり】**^{説明}に注目し、後の文をおさえる
(例) 何度となく読み解くうちに読解力が上がっていく。つまり、読解を上達させるきっかけを作ってくれるのは、徹底的な本文の読み込みと反復練習だ。

このように、「具体例の前後」、段落の「最初と最後」、「接続語のあと」という「目印」を追っていくと、筆者の主張や文章の要点をつかめるようになります。

では、平成三十年度埼玉県公立高校入試の大問三の説明的文章の第一段落を使って、実際に練習をしてみましょう。

第一段落

まずは、最初の「目印」である「段落の最初」に注目し、線を引きましょう。

ここでは、「茶道」で表現される「侘びの美」には、「日常的・実用的態度」からの「エポケー機能(判断停止)」があると述べられています。

次の「そのことは」と述べ「その部分」は**具体例**になりますので、()でくくります。そして、「最後の部分」も**大事**なので、「彼が認めている」に線を引きます。ここは最初の文と同じ内容を繰り返し述べている部分になります。

このように「目印」を押さえて読むことで、一段落の要点が「侘びの美は、他の芸術と同じく、日常空間から離脱する特性を持つ」ということだと見抜くことができます。みなさんもぜひ、「目印」に注目して、線やかっこをつけて読んでみてください。

次に、「解き方」のポイントに移ります。

◎解くときのポイント

① 問いを確認する

- ・問題で問われている内容

② 条件を確認する

- ・指定語句、字数制限など

③ 空欄の前後を確認する

これらを手がかりに答えの材料がある段落の見当をつける

では、実際に問5の問題を解いてみましょう。

問5 ⑤ 美的戦略を持つとありますが、筆者は、侘びの持つ美的戦略はどのような契機をもたらすと考えていますか。次の空欄にあてはまる内容を、**現実**、**悟性**の二つの言葉を使って、三十五字以上、四十五字以内で書きなさい。ただし、二つの言葉を使う順序は問いません。

侘びの持つ美的戦略は、という契機をもたらす。(6点)

国語の問題では、まず、「設問文」の内容をしっかりと確認するところから始めましょう。なぜなら、「設問文」の内容自体が、問題を解く第一の手がかりとなるからです。

① 問いを確認する

この問題の場合、問われている内容は、「**筆者は、侘びの持つ美的戦略はどのような契機をもたらすと考えていますか**」の部分になります。ですから、「侘びの持つ美的戦略」について説明されている箇所と、それがどのような「契機」(きっかけ)をもたらすのかが書かれている箇所を探せばよいということがわかります。

② 条件を確認する

「条件」は、「**次の空欄を埋める**」、「**現実・悟性の語を使う**」、「**三十五字以上、四十五字以内で書く**」ことになります。**指定語句がある場合は、その言葉を含む箇所も、解答の有力な候補になります。**

③ 空欄の前後を確認する

「**次の空欄**」を埋める問題では、**空欄前後の言葉と似た内容を探す**ということも解く上での手がかりになります。空欄の前に「侘びの持つ美的戦略は」とありますので、美的戦略の説明から書き始め、空欄の後には「という契機をもたらす」とあるので、美的戦略によってどんなきっかけがもたらされるかを最後に書くようにすればよいことがわかります。

「問い」から何をすればよいかがあったので、あとは解答の材料を本文から探していきます。

材料その① 「美的戦略」の説明

最初に「美的戦略」の説明がなされているところを見つけましょう。同時に指定語句である「悟性」、「現実」にも注意を払います。

傍線部⑤の前後を確認すると、「それではなぜ侘びはこうした^⑤美的戦略を持つのか」となっており、「**こうした**」という**指示語**があることがわかります。ということは、「美的戦略」の説明は、**ここより前の部分に書かれている**ということなのです。

実際に探してみると、9段落の冒頭で「美としての侘びの戦略は、この**悟性**の活動を縮減することにある」と説明されている部分が見つかります。**段落の最初**でもありますので、ここが大事なポイントになります。

※ここでいう「悟性」とは、8段落で説明がありますが、身の周りのものに「服、靴、机、イス、カップ」などと名前をつけて、日常生活を暮らしやすいものにする能力のことです。同時に、物事を見慣れたものにして、個々のものをじっくり見つめることを妨げるものでもあります。

9段落で次に重要な「目印」が、「**ところが**」という**逆接**です。その後の「この**悟性**の働きの戦略的に縮減されれば、私たちの構想力はやすやすとそれを超えるだろう。」という部分を押さえます。「侘びの戦略」は、日常を単調なものにする「悟性」の働きを鈍らせ、「構想力」を活動させることにあるというわけです。

さらに**段落最後**の「人が茶碗に銘を付けるのは、それを茶碗一般としてでなく、私たちが向き合うべき一つの対象とするためであり、私たちが一個の茶碗に見入るときもはや「茶碗」という普遍的概念は消え、それが持つ微妙な景色を眺めて人はそこに美を見出す。」の部分に注目します。「悟性」の働きの弱まると、一つひとつのものに注目できるようになり、「美」を見出せるのです。

以上が、「侘び」の「美的戦略」になります。

材料その② もたらされる「契機」

次は「美的戦略」が何の「契機」になるかということなのです。

傍線部⑤に戻ると、「それではなぜ侘びはこうした^⑤美的戦略を持つのか」と疑問文になっています。この答えにあたる部分を探せば、「侘び」の「美的戦略」の狙いが何で、どんなきっかけになるのかが押さえられるということなのです。

探すと、傍線部⑤がある**1段落の最後**、「侘びの美はそのように人が己の脚下に目を向けるべきであることを、美を通じて知らしめる」が見つかります。

1 2段落の最初にも、「侘びの美はその独自の芸術的構えによって私たちの脚下にある**現実**を捉め直させる」という同様の内容があります。**同じ内容が複数ある場合は、指定語句が含まれるなど、問いの条件を満たす部分を優先的に解答の材料として使う**とよいです。

「侘び」は、「美」を通じて、自分の足元や「現実」を見つめ直すきっかけを与えてくれるのです。

以上で、解答の材料である「美的戦略」の説明と、「契機」の内容が押さえられました。実際に解答を作成してみましよう。
まずは材料をそのまま空欄に入れてみます。

侘びの持つ美的戦略は、

- ・美としての侘びの戦略は、この悟性の活動を縮減することにある
- ・この悟性の働きの戦略的に縮減されれば、私たちの構想力はやすやすとそれを超えるだろう
- ・私たちが一個の茶碗に見入るときもはや「茶碗」という普遍的概念は消え、それが持つ微妙な景色を眺めて人はそこに美を見出す
- ・侘びの美はその独自の芸術的構えによって私たちの脚下にある現実を見つめ直させる

という契機をもたらす。

ここから字数を調整していきますが、**内容が重なる部分を中心に消去**していきましょう。具体例や比喻の部分なども、特に条件がなければ、省く対象になります。

残った部分を空欄前後に合うように加筆・修正していきます(オレンジ部分)。「指定語句」(ピンク部分)を盛り込むことを忘れないようにしましょう。

侘びの持つ美的戦略は、

悟性の活動を縮減することにより、

構想力を活発に働かせて、

美を見出し、

現実を見つめ直させる

という契機をもたらす。

このように解答をまとめることができます。

記述問題で正解するコツは、設問文が発しているヒントに気づき、問われている内容が書かれている箇所を本文中から素早く見つけることです。今回お伝えした「説明的文章のポイント」を駆使し、速く正確に「読む」訓練を積み、**最初に文章を読み終えた段階で「筆者の主張」要点がつかめているという状態になるように**していきましょう。

作文

「作文」のポイントはこちらになります。

【作文のポイント】

★作文のテーマ・条件を確認し、「型」を決めてミスをしなさい！

作文にかけられる時間は、約10分です。この短い時間で指定字数を書き上げるために、まずは、「どこに何を書くか」という「型」を決めておくことが重要になります。

次に挙げるのが、基本的な作文の「型」になります。

【「型」を決める】

① **結論** ↓ **自分の意見・考えを書く**

(例) 「私は〜と考える」

「私の意見は〜だ」

「私は〜と同じく〜と考える」

「私は〜に賛成(反対)だ」

② **理由・体験** ↓ **考えの根拠を書く**

(例) 「なぜなら〜からだ」

「理由は〇つある。一つ目は・・・」

「それは〜だからだ」

「私が〇〇とき〜」

初めに、与えられたテーマや資料についての自分の考えに「結論」を書き、次にその「理由」や「体験」を書くようにしましょう。

また、作文では「ミスをしなさい」ということも大変重要になります。次はミスがある作文になります。どこに不適切な表現があるかわかりますか。

【ミスをしなさい】

① **結論**

私は報告書やレポートを書く場合は、情報は正確に伝えることは大切だと考える。

② **理由・体験**

なぜなら中二の部活動の出来事で苦い経験をしたことがあります。

正しい表現に直すと、こうなります。

私は報告書やレポートを書く場合は、**情報を正確に伝えることが大切だと考える。**
なぜなら中二の部活動の出来事で苦い経験をしたことがあるからだ。

書き終わったら必ず見直しをして、ミスがないようにしましょう。

それでは、本日のまとめです。

◎**公立必勝ポイント**

【**説明的文章のポイント**】

☆「目印」を手掛かりに**筆者の主張をつかむ！**

【**作文のポイント**】

☆**作文のテーマ・条件を確認し、「型」を決めてミスをしなない！**

それでは受験生のみなさん、ぜひ本日紹介した「説明的文章の読み方・解き方」と「作文の書き方」を活用して、今後国語の問題に取り組んでいってください。

みなさんが志望校に合格することを、心よりお祈りしています。